

平和と発展 実感した 真摯な思い

今回の研修で国際機関で働く日本の方々とのお話を通じて、多くの人々の平和と発展に貢献するために海外で働くという真摯な思いを感じた。

海外で働くのに一番大切なのは語学力だと教えていただいた。なぜなら、レポートや会議、他国の人たちとのコミュニケーションなどは、英語を使えることが職務を進める上で最低限必要な能力だからだ。また、国際

機関の公用語であるフランス語やスペイン語などを話せることも必要とのことだった。私はこの6日間様々な人と英語で会話してみても、英語を話せるということはゴールではなく、あくまで意思疎通のための手段であると感じた。だから、これから外国人と話す機会が訪れたときは、自分が学んできた英語で積極的に会話する練習をしたい。

また、IAEA(国際原子力機関)での研修は特に印象に残っている。敦賀市に生まれ育った人間でありながら、この研修で、原子力発電について新しく知ったことが多くあった。職員の皆さんは主に原子力の平和利用・管理・発展のために視察官として他の国の原子力施設を訪れている。核燃料物質の数を数える、サンプルを持ち帰り調査すると伺っ



Reporter

敦賀高校2年
いながき けいご
稲垣 圭吾

国際機関で働く日本人に 学ぶ視察研修会



IAEAにて

8月初旬に県内の高校生を対象に、IAEA(国際原子力機関)、WHO(世界保健機関)、WIPO(世界知的財産権機関)で働く日本人を訪問し、各機関の役割と日本人の活躍について学びました。

た。中には、安全性を考慮して10年以上もの時間をかける業務もあると知ったときには驚きを得た。

国際機関で働くには、様々な専門分野の知識と日本での就業経験が必要とされる。そして、何よりもまず自分のやりたいことや、就きたい仕事をできるだけ早く見つけ、どの大学で、どの学部で勉強することが必要かなど、早くからの準備が必要であることを学んだ。

高校生活を通して、進路実現の準備を進め、今回の研修でお話をしていただいた職員の方と同じように、社会に貢献できる人間を目指す、努力していきたい。

エネルギー とこと

原油安が続く、エネルギーは足りているように見えますが、国際的な政情不安、新興国の需要増など先行きは不透明です。日本が持続的に発展するためには、原子力、再エネなどバランスのとれたエネルギー政策の実行が重要です。

福井県経済団体連合会 会長 **川田 建男**

福井県環境・エネルギー懇話会

〒918-8004 福井市西木田 2-8-1
福井商工会議所ビル 6F

▶バックナンバーはコチラから

福井県環境・エネルギー懇話会

検索

今回は **9月6日(火)** 掲載予定

視察研修会に参加した高校生が学んだこと・体験したことをシリーズで紹介していきます。